



七大戦 in 蒲郡

平素よりお世話になっております。主将の峰野晴です。私からは、7月13日から3日間、愛知県は豊田自動織機海洋ヨットハーバーで開催されました七大戦について報告させていただきます。先ず、京都大学の本大会での成績を報告いたします。最終成績は470級3位、スナイプ級2位、総合3位でした。目標としては総合優勝を掲げており、達成すれば三連覇でしたが、目標には届かず悔しい結果となりました。

本大会は、抽選で決まる各クラス2艇のチャーター艇を用いる団体戦で、他のレースとは異なる独特の部分があります。慣れない艇で艇速の出し方に苦戦したり、艇にトラブルがあり出走できなかったりと翻弄される中で、チームの準備不足が露呈し、勝利を掴めない結果に終わってしまいました。チームの準備不足は、レセプションで行われたエール交換でも露わになりました。各大学が伝統の応援歌を披露するなかで、私たちの応援歌は覚えられていない人が大半で、お世辞にもいい出来とは言えませんでした。

しかし、ここで陸隊長の玉木が素晴らしい働きを見せてくれました。閉会式でも行われるエール交換に備え、玉木は陸のメンバーに応援歌のテストを実施し、結果全員が応援歌を歌えるようになりました。一方、沖のメンバーも1日目の反省を踏まえ、2日目のレスキューの動きについて綿密に打ち合わせを行いました。様々な課題が見つかった大会でしたが、その幾つかは大会を通して改善することができました。今回の敗戦を無駄にしないよう、残りの課題についてもチーム全体で取り組み、団体戦予選および本戦の際には、より強く成長した京大ヨット部で全国総合3位を勝ち取ります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

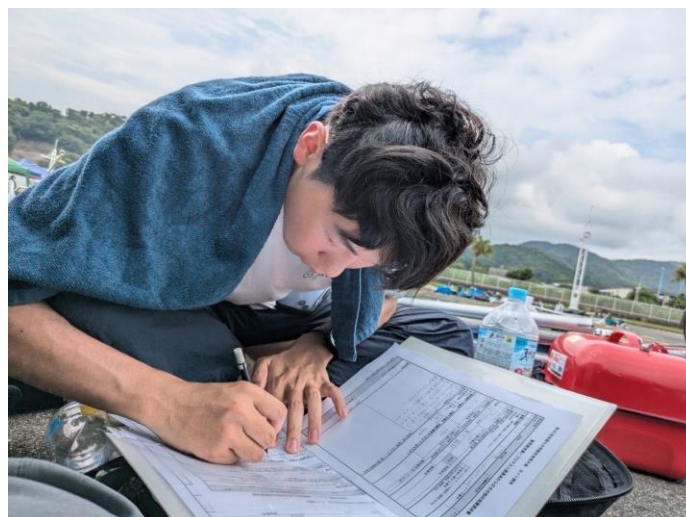
七大戦 沖状況

平素よりお世話になっております、2回生にスナイプクルーの明見春彦です。私からは7/13から7/15にかけて開催された七大戦について報告させていただきます。私は沖サポートとしてレスキューに乗っていたので、レスキューから見た今のチームについて述べていこうと思います。まず、結果についてなんですが、目標にしてきた優勝には力及ばず、3位となってしまいました。沖で優勝した東大が喜び合う姿を見て、非常に悔しく、また応援してくださったOB・OGの方々、陸のサポートメンバーには申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。今大会は470級8レース、スナイプ級7レースとたくさんさんのレース数をこなしており、今の実力が顕著に現れた完敗であったと考えております。具体的に課題を上げればキリがないですが、近年1番の武器として、標榜してきた「総合力」というものが失われた結果だと感じます。自分自身もレスキュー同士の連絡や風の分析など非常に未熟な部分が多かったです。部員も多くなり、以前にも増して当事者意識が薄れてしまいそうな環境ですが、私たち下級生がより自分がチームを変え、強くするという意識をもって取り組んでいかなければと痛感しました。もうインカレまで4ヶ月も残されていないですが、なんととしてでも強い組織を取り戻し、目標の総合3位を達成できるように全力で取り組んでいきたいと思っております。最後になりましたが、大会期間中献身的なサポート・応援をしてくださった田中監督、神谷コーチ、OB・OGの皆様、保護者様、素晴らしい大会運営をしてくださった名古屋大学の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。



七大戦 陸状況

お世話になっております、2回生470クルーの鍵田知徹です。私の方からは7/13から7/15まで開催された七大戦での、陸サポートについて報告させていただきます。私自身はいくつか役割を与えられていましたが、その中でも審問の仕事が初めての経験であった上に勝敗に直接関わる部分であったため印象に残っています。特に今回のレガッタは審問が多かったので、去年の七大戦で交流やポジション決めをしていた時とは全く違う忙しさや緊張感があり、先輩方に感謝すると共に去年との変化を感じました。また、去年はなんとなく見ていたtrac-tracも風の振れや船の動きなど戦況が少し分かるようになっていて去年から成長したのだと感じました。最後のレースまでレースメンバーを信じて見続けていましたが、結果としては目指していた優勝には届かず3位と悔しいものとなりました。チームのために出来る事はやはり自分自身が成長する事なので、これからも技術を磨こうと改めて思いました。



琵琶湖セーリングチャンピオンシップ

お世話になっております。二回生470クルーの金子諒大です。6/15-16に行われました琵琶湖セーリングチャンピオンシップについて報告させていただきます。今大会は全日本470への出場がかかった大会でもあり、チーム全体として緊張感を持って臨んだレガッタでした。初日は東風、2日目は南風、両日とも6~11knotの振れや風量の変化が激しい、難しいコンディションで計7レース行われました。結果としては470チームからは2ペアが全日本470の出場権を獲得することができました。8月に江ノ島で行われる全日本470は全国から学生、社会人問わず高い技術を持った選手が多く集まる大会であるため、様々なことを学ぶ大会にしたいと考えております。今後とも応援よろしくお願ひします。



東日本スナイプ

平素よりお世話になっております。2回生スナイプスキッパーの松永奏人です。7/6, 7に江ノ島にて開催されたノースセールカップ東日本スナイプについて報告させていただきます。本レガッタは関東の強豪私立大学の学生や社会人セーラーも多くエントリーする94艇のビッグフリートとなっており、非常にレベルの高いレガッタでした。

1日目は風が安定せず陸と沖での風待ちの末にレースは行われませんでした。2日目は約12ktsの安定した風が吹き、計2レースを消化いたしました。

私にとって初めての海でのレガッタで大きなうねりを伴う江ノ島らしいコンディションに大変な苦戦を強いられ、ボートスピードやタクティクスなど多くの面で伸びしろを感じましたが、5月からペアを組んできた山田の秀逸なコース引きで前を走る場面もあり、セールの向こう側に広がる壮観な景色に心躍りました。更なる成長を目指して、この貴重な経験を糧に今後の練習に取り組んでいく所存です。



オリンピックウィーク

平素よりお世話になっております。2回生470スキッパーの熊川琳哉です。私の方からは5/23~26にかけて行われましたEnoshima Olympic Weekについてご報告致します。この大会はインカレ種目の470, スナイプのみならず合計9種目500人を超える選手が出場したレースとなり、470だけでも全日本インカレの72艇を超える83艇のエントリーの超ビッグフリートでのレースとなりました。初日、3日目はアンダーパワー、2日目にはオーバーパワーのコンディションで計7レース行われました。初日の軽風ではリコールが目立ったものの、シングルを走る場面もあり、内容としては現状に対して満足できるものでした。一方、2日目のオーバーコンディションでは全体の半分以下の成績が続きハンドリング、スピードの面での実力不足を痛感させられる結果となりました。今大会は自分の得意な部分、苦手な部分が確認できこれからのレースに繋がる良い機会となりました。今後とも更なるレベルアップを目指し練習に励んでいきます。



夏季大会

お世話になっております。2回生470クルーの青田聡史です。6/22から2日間において行われた近畿北陸学生ヨット選手権夏季大会についてご報告致します。

本レガッタは艇番と遠征メンバーを決めるレースの1つであり、個人的にプレッシャーのかかるレースでした。

1日目はオンデッキ~セミトラちょいオーバーの北風が吹き、5レース目からは三井寺に変わり、振れの多いコンディションでした。

2日目は予報通りの三井寺オーバーが入り、自分たちのオーバーの帆走力での劣りを実感させられるレースとなりました。

自分たちのペアとしては、セミトラの帆走力とコースがうまくいき、下級生ながらいい成績を収めることができました。しかし、オーバーでの帆走力が同志社や京大の上位艇とは明らかに差があり、まだまだ課題が見つかるレースともなりました。この経験から上回生に負けないよう一層努力しようと思います。これからも応援よろしく申し上げます。



東日本スナイプ

お世話になっております。3回生470クルーの豊田航生です。6月29日、30日に行われた近畿北陸学生ヨット選手権個人戦について報告させていただきます。

今回の大会は9月に行われる全日本学生ヨット選手権個人戦の予選も兼ねていて、緊張の感じられる大会でした。

私は2月から3人ペアとして組んでいるスキッパーの上中と、風域交代のクルーである森田と3人で臨みました。

3人で数ヶ月間この大会に向けて調整してきたため、レースシーズンの中でも一際緊張していました。いざレースが始まると緊張のせいか視野が狭まってしまいましたが、帆走についてはそれを逆に活かして普段以上に集中することができ、無事4位入賞し、本戦への出場権を獲得することができました。その喜びはひとしおでしたが、動作や帆走、また周囲の状況把握などいずれの項目においてもまだトップレベルには遠いことを実感させられる大会でもありました。このような素晴らしい景色をまた見られるように今後とも精進していきたいと思っております。



近畿北陸学生ヨット個人選手権大会

お世話になっております。2回生スナイプクルーの西川静です。6/29,30に開催された近畿北陸学生ヨット個人選手権大会について報告させていただきます。今大会は全日本学生ヨット個人選手権大会への切符をかけた大会でもあり緊張感の高まるレガッタでした。初日は1レースから風待ちの後APHが掲揚されましたがすぐに風が入ってきて計2レースが行われました。2日目は朝一から晴れる中沖で風待ちを行い、昼過ぎに1レースが行われて計3レース成立となりました。

結果としては僕たちの艇はコンディショニング的に得意だったこともあって4-6-1で1位をとる事ができました。しかしこれは他大学のSTPによって取れた1位であり、レースとしてはまだ上がいるという悔しさを感じたと同時にヨットは相対的なスポーツであってその数点が勝敗に響くということを強く感じました。個人的にもまだまだ細かい失敗は沢山ありました。夏合宿では大きく成長できるよう精一杯努力しますので応援のほどよろしくお願ひします。



クラス分け

お世話になっております。この度470クルーへ配属となりました1回生の西尾竜之輔です。

七大戦において行われた1回生のクラス分けについて報告させていただきます。

クラス分けにあたり、ポジションの希望について2日間かけて話し合いました。当初から予想されていた通り、我々92期は割り当てられた定員に対して470級への配属希望者が多く、話し合いは難航するかと思われました。しかし、全員が話し合いに協力的で、2日目の全体解散前に無事決定することができました。

自分たちの選んだポジションでダブルハンドでの新たな挑戦が始まるということで、大きな期待を抱いています。これから先輩方と共に精進していきたいと思っております。

末筆ながら、クラス分けに際して様々な助言をくださり、見守ってくださった監督、コーチをはじめ先輩方には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

これからも92期一同、そして京都大学ヨット部をよろしくお願ひいたします。



日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。まずは、フレッシュな一回生のお二人です。
岡嵯健太(1),政枝凜々子(1)



470 クルー

岡嵯 健太

岡山操山高校出身。高校では書道をしていてよっと経験者ではないのだが、京大入学時点でヨット部入部を決めていたらしい。不思議だが熱いパッションを秘めている。今後の成長が楽しみだ。

Q.これまでの部活を振り返って

A,1回生は7月までホッパーに乗ってヨットの基本的な動作を体で学び、座学で先輩やOBさんからヨットについての原理や知識を学びました。これまでヨットに対して無知であったため、初めは艀装品や動作の名前を覚えるのに必死でした。しかし、ある程度ヨットについての知識が増えていくとヨットに乗ることが急激におもしろくなってきました。最後のホッパーレースでコースを考えながら他艇と競争したのはいい思い出となりました。

Q.自分のポジションを選んだ理由

A,僕はトラップビーズとスピンの魅力に惹かれ、470クルーを選びました。4月の試乗会で一番乗りたい！と感じたのは470クルーであり、ヨット部に入部してからヨットの動画を見るようになったのですが、特に470の動画でのクルーの体全体を使った動作を見て、470クルーに強い憧れを抱くようになりました。また、ヨット部内の470チームの持つ雰囲気にも惹かれたことも470クルーを選んだ理由の一つにあります。

Q.平日していること

A,基本的に僕は平日暇なので、起床→登校→大学→帰宅→夕飯→課題→就寝を繰り返しています。高校時代よりもやるのが格段に減ったため、墮落した生活を送るようになってきており危機感を感じています。僕は地方出身なので京都で一人暮らしをしているため、余裕があれば夕飯は自炊をしています。最初は色々な料理に挑戦してみたいのですが、最近は大抵作る料理が簡素化されて、大体同じようなものを作ることになりました。

Q.今後の目標

A,僕が今後目指していく目標は、頼れるクルーになることです。特に470ではヨットの速さはスキッパーの腕にかかっているところがあるため、頼れるクルーがいればスキッパーが全力を出して舵を握ることができるのだと思います。頼れるクルーになるためには、技術面、精神面の両方において絶対的な強さが必要になります。その強さを身につけていくため、これから470クルーとしての修行を積んでいきたいと思っています。



snipe スキッパー

政枝 凜々子

大阪府立大手前高校ダンス部出身。華奢で超色白な今までのヨット部にはなかなかいなかった珍しいタイプだが、ヨットに乗ると誰よりも力強くメインシートを引いているらしい。ダンス部で磨き上げた持ち前の運動神経を持つ期待の新人。

Q.これまでの部活を振り返って

A.入部してから7月までの期間、ホッパーに乗ってヨットの基礎を学びました。謎のカタカナ用語、あまりにも細かすぎるルール、どこから吹いているのか全く分からない風に翻弄され、右も左も分からない状態からのスタートでしたが、座学と一緒に乗って指導してくださった先輩方のおかげでほんの少しずつできることが増えていったように思います。艀装や解装、座学、出艇、帰り道での同期とおしゃべりなど、毎回の部活が濃密であったという間の2ヶ月間でした。

Q.自分のポジションを選んだ理由

A.京大ヨット部の好きなのはやはり雰囲気です。同期はもちろん、先輩達は面白い人や優しい人ばかりで、話したり活動したりしてとても楽しいです。京大ヨット部のおもしろい雰囲気や楽しい雰囲気は入部を決めた大きな要因のひとつで、練習が本当に楽しいのが毎週週末が待ち遠しいです。一回生ということもあり、練習で会って話すたびにその人の新しい一面が垣間見えたりしておもしろいです。京大ヨット部は本当に色々な人が集まっています。とても楽しいところです。

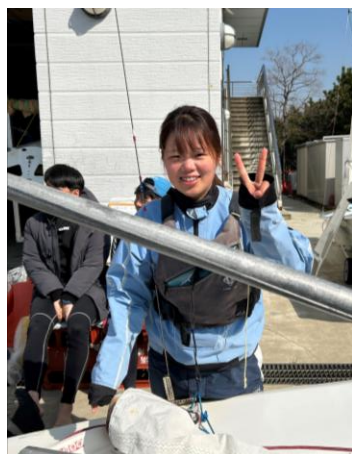
Q.平日していること

A,大阪から通っていて通学に時間がかかり、「家帰って20時やったらセッション下がる」という理由で時間割から5限を抹消したので、平日は遅くても4限終わりというスケジュールで基本的に爆速で家に帰ります。しかしそんなに急いで帰っても特にすることはなく、だらだらごろごろしながら、束の間の「人生の夏休み」を楽しんでいます。またたまには授業終わりに友達とスイーツを食べに行ったりしてキラキラ女子大生生活(自称)も送っています。

Q.今後の目標

A,今後の目標は、優雅にダブルハンドを乗りこなせるようになることです。そのためにホッパー練習をで学んだことを復習し、丁寧に基本技術を身につけ、体力や筋力をしっかり鍛え直したいと思っています。しかし、ありがたいことに希望通りスナイプスキッパーができることになったのでやはり1番はこれからの3年半を最後まで楽しめたいなと思っています。たくさんご迷惑をおかけしてしまいかもしれませんが精一杯頑張りますのでご指導よろしくお願ひします。

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。続いてはついに先輩になってしまった二回生の二人です。
原田智(2), 嶋根爽馬(2)



snipe クルー

原田 智

東京都立西高校出身。いつもニコニコしており、天然な性格が散見されるが、圧倒的な自主練参加率を誇るゴリゴリパッション系スナイプクルー。夏は日焼け対策のため完全に覆面になっており、本当に誰だか見分けがつかない

Q.これまでの部活を振り返って

A.これまでの部活を振り返ってみると、新しいことをたくさん学べた一年間だったと思います。全く聞いたこともなかったヨット競技をはじめ、気づけばポジションも決まりレース経験もたくさんできました。今では後輩もでき、自分が教える側になっていることに自分でも驚きます。楽しいこともしんどいこともたくさん経験することができました。

Q.尊敬する先輩

A.私の尊敬する先輩は3年生スナイプクルーの古閑麻央先輩です。同じ女子クルーの先輩として自分の憧れであり目標です。特に、2段煽りタックのアンチのかけ方がとても好きです。また、自分にはないコミュニケーション能力と明るさを持っており、人としても尊敬しています。

Q.思い出のレース

A.思い出のレースは、2週間前にあった東日本スナイプです。ペアとのはじめての海でのレースで、今まで経験したことのないねりや波の海面で何が正解か全然わからないままあっという間に三日間が終わりました。艇数も多く、スタートの大事さを改めて実感しました。レースの途中でピークロープが飛ぶなどのトラブルもあり、納得のいく結果が残せなかったわけではありませんでしたが、学びの多い遠征となりました。

Q.今後の目標

A.これから私はひとつひとつの技術を丁寧にこなせるようになりたいです。動作の見直しや帆走中の集中力の向上など課題は山積みなので、毎回の練習で自分の課題や目標を明確にして取り組んでいきたいと考えています。これからは後輩に教えていくことになるので、自分自身の課題を見失わず、また後輩を育てていけるよう精一杯頑張りたいと思います。



470 スキッパー

嶋根 爽馬

東京都開成高校サッカー部出身。理学部理学科。2浪。沼男。入部当初はさわやかなお兄さんキャラだったが、いまでは化けの皮がはがれてただのスカシキャラに成り下がってしまっている。しかし、ヨットへの熱量は部内随一で平日も誰よりも練習に取り組んでいる。

Q.これまでの部活を振り返って

A. 今回のテーマは振り返りとさせていただきます。直近の大会の結果をご報告させていただくと琵琶湖セーリングチャンピオンシップ34位/43艇、夏季大会26位/35艇、個戦予選18位/35艇と正直思い描いていた結果とはかけ離れた苦しいものとなりました。1年間まずは動作・帆走と言われ続けたにも関わらず、そこですらいまだに上手い人たちとの差が確固たるものであることを思い知らされています。とは言えども、確実に成長できた部分はあると感じているので引き続き練習に励んでいければと思っています。

Q.尊敬する先輩

A.私が尊敬する先輩は4年生の抜井理紗さんです。ヨットの帆走技術、風や海面に対する理解、コース、それらを同時に行うキャパシティーとヨット競技で勝つのに必要な要素をとっても全国トップクラスです。一緒に練習できる時間は残り少ないですが、同じチーム内にそんな人がいる幸運に乗じてその全てを盗んでいけるようがんばります。

Q.思い出のレース

A.思い出のレースは5月のポイントレースです。いつも前に船がいる状態からスタートし、まともな風を受けられず、苦しい走りをするだけのレースを繰り返していたそれまでとは異なり、スタート直前から徐々に風が自分たちのいる下に振られていき1上を初のシングル7位で折り返すことができました。1下まで9位と自分たちの過去最高順位を走ることができていました。その後急激に風があがり2上、2下と順位を落として中位でのフィニッシュとなりましたが、このレースでは前を走ることができ、厚い成長の壁にひびをいれることができた気がしました。

Q.今後の目標

A.夏季休暇の間は新入生と乗り、上回とは別で練習することになります。クルー頼りだった部分や意識が甘かった部分が浮き彫りになってくると思うのでこういった点を改善し、上回と合流してレースに臨んだ時に上回に勝てるようスキルアップを計っていきたいです。さらに新年度となったときに全国レベルの相手とも渡り合っていけるよう準備を怠ることなく毎日の練習を大事にしていければと思っています。今後も応援よろしくお願いします。

休日の過ごし方

お世話になっております。2回生スナイプクルーの野口陽矢です。

今回はオフの過ごし方ということなのですが、最近はバーチャルレガッタ（通称:VRI）というヨットレースのゲームにハマっています。セーリング競技のeスポーツにあたるこのゲームは、実際のヨットレースにおいて重要な「風を読む力」「コース力」などが磨かれます。僕にとってVRIとは単なるゲームではなく、ヨット上達のためのトレーニングです。そんなVRIは今、京大ヨット部でもアツくなってきており、8月に開催されるEGOK（eセーリング学生王者決定戦）のメンバー選考を兼ねた部内レースが開催されるほどです。

また、e-Sailing世界選手権において、スナイプリーダーの峰岡さんが準決勝へ、僕が準々決勝へと駒を進めています。僕のブロックは7月末にレースが実施される予定なので準決勝へと進めるよう全力を尽くしたいと思います。とは言ってもやはり、強くなりたい、上手くなりたい、速くなりたいのは現実のセーリングです。リアルでも日々研鑽を重ねていきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



思い出のマネ飯

平素よりお世話になっております。3回生マネージャーの伊藤萌です。今回はホワイトデーに作ったバターチキンカレーとクランチチョコレートをご紹介いたします。人参の形をハートにしたり、チョコレートをデコレーションしたりして可愛いホワイトデーランチに仕上がりました。実は、チョコレートに天かすを使っているんです。カレーも本格的な風味で、部員から好評でした。これからも栄養と愛情たっぷりのマネ飯にぜひご注目ください。



思い出のレスキュー

お世話になっております。3回生マネージャーの曾良です。私の思い出のレスキューは、1回生の春合宿でのレスキューです。練習中天候が一変し、辺り一帯ホワイトアウト

で何も見えなくなりました。コンパス頼りにサングラスも凍らせながら何とかヨットを着艇させましたが、初めて自身身の危険も感じた日でした。先輩方から何度も大変だと聞いていた春合宿でしたが、大変な時こそ挑戦したくなる性格の私にとっては「レスキューしてるぞ!」とやりがいを感じる場面も多く、自分のスキルが向上したと思えた期間でした。



他にも公式のインスタグラムのアカウントとは別に、今まで作ってきた紹介しきれないほどのたくさんのおいしいマネ飯を発信しているインスタのアカウントがあるので、是非そちらもご覧ください！

右のQRコードを読んでいただくか、
https://instagram.com/kuyc_food?igshid=MzRIODBiNWFIZA==
こちらのリンクから飛んでいただくと閲覧可能です。



京都大学体育会ヨット部
滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫

[tel] 077-525-0312
[hp] <https://www.kuyc-home.com/>
[mail] kuyc.2013@gmail.com

<https://twitter.com/kuyc>

https://www.facebook.com/kyoto_sailing/?fref=ts

https://www.instagram.com/kuyc_food?hl=ja

